政策研究センター　リサーチ・プロジェクト　成果報告書

提出日: 2021/2/26

申請者(リーダー): 氏名　隅蔵康一　職名　政策研究大学院大学・教授

リサーチ・プロジェクト名:

(和文) 科学コミュニケーターのスキル・スタンダードとナレッジ・プラットフォームの構築

(英文)

期間(yyyy/mm/dd): 2020/4/1　から　2021/3/31　1年間

共同研究者:	氏名	職名	所属機関・部局名	(備考)
共同研究者1	天元　志保	客員研究員	政策研究大学院大学	
共同研究者2	樋江井　哲郎	客員研究員	政策研究大学院大学	
共同研究者3	松田　壮一郎	客員研究員	政策研究大学院大学	
共同研究者4	谷　明洋	科学コミュニケーター	フリーランス	
共同研究者5	澤田　莉沙	科学コミュニケーター	フリーランス	
共同研究者6	西村(黒田)由希子	代表理事	一般社団法人知識流動システム研究所	
共同研究者7	大崎　章弘	特任講師	お茶の水女子大学	
共同研究者8	小泉　周	特任教授	国立大学共同利用法人　自然科学研究機構	

リサーチ・プロジェクトの目的

科学リテラシーの向上ならびに専門家と市民の間の科学コミュニケーションの促進が、先進国・途上国共通の課題となっていることを踏まえ、科学コミュニケーションの促進のために、科学コミュニケーターのスキル・スタンダードを作成する。他領域における類似の先行事例を調査し、科学コミュニケーターがノウハウ(実践メソッドや装置・機器などのマテリアルを含む)を共有してスキルのレベルを向上させることを支援することを目指したナレッジ・プラットフォームを構築につなげる。

研究成果の概要(800字程度):

今年度は、昨年度作成した仮の「科学コミュニケーター (SC) のスキル・スタンダード」を用いて、(1) 「能力要素リスト」の作成、(2) SCが有するスキルや能力要素の意識調査 、(3) 社会で活きるSCの在り方についての考察 を行った。
(1) 「スキル・スタンダード」は、10のカテゴリ、46のスキルに分けて作成した。これらを網羅的に再整理することにより、SCが社会でスキルを活かすための11の「能力要素リスト」(例えば、"教育者"タイプとして発揮されるスキル群、"解説者"タイプとして発揮されるスキル群など)を新たに作成した。(2)「スキル・スタンダード」と「能力要素リスト」をアンケート様式にまとめ、SC養成講座等経験者45名を対象に、自身が持っているスキルや要素について自己評価するよう依頼した。その結果、「理解するスキル」「わかりやすく解説するスキル」の項目で自己評価が高い傾向にあり、一方で「研究者スキル」や「図表、web等の制作スキル」は低い傾向にあった。「能力要素リスト」については、"解説者" "教育者"などの要素で価値を発揮している人が多い傾向にあり、"起業家" "研究者"で少ない傾向にあった。特に"起業家"の要素については、スキルや価値に対して自己評価が低いだけでなく、そもそもその能力要素自体に関心が少ない傾向にあった。(3) アンケート調査の結果やSC活動に関わる様々な立場の人と意見交換を行うことで、「SCの在り方は非常に多様であり、単一の能力要素だけに拘らず広い視野で自身の価値を活かせるフィールドを探すとよい」「例えばビジネス領域などへの進出も考えられる」「SCが俯瞰的に自分の立ち位置や目指すスキルを分析できるような仕組みが必要」などといった考察が得られた。
本研究で作成された「スキル・スタンダード」や「能力要素リスト」は、SCが自身のスキルを内省し、より社会に価値を発揮するための指針形成に役立つことが期待される。

研究成果:

別紙((成果報告書(研究成果一覧))に記入

その他、研究成果として特記すべき事項:

対外発表としてGRIPSディスカッション・ペーパーを準備中である。

(全ての項目含め、1頁以内で記述してください。)

研究成果一覧:
(発表予定を含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。別紙一覧でも可。)
(必要に応じて適宜追加)

論文((学術雑誌(総合雑誌(文藝春秋、中央公論、世界)を含む。)等掲載)
※査読付きのものは、査読欄に「1」を入れてください。
※共著論文の場合には、ご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。
※国際共著とは、異なる国を拠点とする複数の研究者による共著論文を意味します。

	著者	0 件 標題	雑誌名 /所収図書の編者・図書名・出版者等	巻・号 /章・節	件 発行年	開始ページ	終了ページ	0 査読(有=1)	0 国際共著(yes=1)	DOI	オープンアクセス(yes=1) 0
1							-				
2							-				
3							-				
4							-				
5							-				

図書:
※共著の場合にはご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。
※書籍の一部分のみを執筆した場合には論文の区分に含めてください。

	著者・編者	0 件 図書名	出版社	発行年月	総ページ数
1					
2					
3					
4					
5					

口頭報告・学会発表等:
※査読付きの学会論文集は「論文の区分」で報告し、査読なしの学会論文集は「学会発表の区分」で報告してください。
※招待講演については、学会等名の後に(招待講演)と明記してください。

	報告者等	0 件 論題	学会・研究会名等	報告年月日	開催場所
1					
2					
3					
4					
5					